



メダカを放流する家族連れ



去る7月23日(土)に水土里ネットタケル(員弁川用水第二土地改良区)が協賛し、「自然と子供と楽しもう」をテーマに「第13回めだか祭り」が、めだかの学校付近で開催され、地域の親子連れや子供たちで賑わった。

この「めだか祭り」は、水辺環境対策事業の一環として計画された「子供たちの農業・農村体験学習推進事業」として、平成16年5月に「めだかの学校」を開校し、地域住民のふれあいの場として提供し、事業に対する理解を深めるために催されている。

この日は、天候にも恵まれ、開場前からたくさんの親子連れ

や子供たちが訪れ、楽しい時間を過ごした。

ビオトープ(めだか池)では、子供たちが元気よく泳ぐメダカやおたまじゃくしを目で追いつつ、大きな歓声を上げていた。

また、会場付近では地元自治会や漁業組合が中心となり多数のブースが出展され、さらにいろいろな催し物も行われ、大いに盛り上げた。

水土里ネットタケルでは、今後も「めだか祭り」を開催し、地域活動を支援していくとともに、水土里ネットを地域住民にPRしていく予定である。



めだか池を散策する来場者



賑わいを見せるブース